



Aカードトップ協会会台の様子

## Aカードホテルシステム

# 「Aカードトップ会」開催

## 独立系ホテル経営者130人出席

キャッシュバックポイントシステムのAカードホテルシステム（東京都千代田区、田中章生社長）は、2月19日、Aカードを導入する独立系のホテル経営者らを都内に招き「Aカードトップ会」を開催した。Aカードの事業報告や会員ホテルの経営者アンケートを基にした分析結果の発表などを行う一方、会員ホテル間の親睦も図るため毎年開いている。今回は約130人が出席した。

冒頭、登壇した田中社長は、2013年3月に新規加盟した埼玉県にあるホテルの客室稼働率の推移を紹介。それまで、年平均65%の稼働率が、加盟後88%になった事例を取り上げ、Aカードの利点をアピールした。併せて、最近の事業報告を行った。

さらに、Aカードのホームページをスマートフォン（スマホ）対応にすることを明らかにした。スマホ利用者が増えていることに対応する。スマホ対応のウェブページを3月1日に立ち上げる。キーワード検索を搭載することで、加盟ホテルの検索が容易になる。併せて、専用の宿泊予約サイトを4月上旬に作る。これにより、外出先などから手軽に予約ができるようになる。

また、昨年8月から順次、大阪、名古屋、東京の各鉄道路線でつり革広告の掲載を開始したことを報告した。一般会員に向けたブランディング活動も強化している。

Aカードは、宿泊金額に対してポイントが加算され、獲得ポイント数に応じて「キャッシュバック」のサービス特典が与えられるもの。1月末現在の会員数は、ホテル395、レストラン55の合

計450。一般会員数は、12月までに新規に75軒を約46万人で、1日平均で225人の加入がある。ホテル会員は、今年の600にする計画。